

119番通報の受付場所を弘前市に集約！

「弘前・西北五地域共同消防指令センター」令和8年2月運用開始

日頃から、火災予防や救急活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。この度、令和8年2月から「弘前・西北五地域共同消防指令センター」の運用が開始されます。これまで鱈ヶ沢地区消防事務組合（鱈ヶ沢消防署・深浦消防署・岩崎分署）が受付していた119番通報は、弘前地区消防事務組合及び五所川原地区消防事務組合と共同運営する共同消防指令センター（弘前市）で受付します。

共同消防指令センターってなに？

共同消防指令センターとは、複数の消防事務組合（消防本部）が協力して1つの消防指令センターを設置し、各市町村の119番通報を一括して受信・指令する施設です。高度な消防指令システムを導入することで、迅速かつ効率的な消防・救急活動が可能になります。



共同消防指令センターのメリット

1. 指令時間の短縮

- 電話会社より通報者の発信地位置情報を取得し、自動で災害地点を特定します。出動指令までの時間短縮が図られ、災害現場への到着がより早くなります。また、生命に関わる緊急度が高い事案の場合は、共同消防指令センター管内の全救急車両等を対象とした直近選別を行います。

2. 災害に強い消防体制

- 地震や風水害などの大規模災害発生時には、通報が集中し、従来の指令体制では指令業務に支障をきたしておりました。共同消防指令センターでは、複数の事務組合（消防本部）の職員が連携して災害対応にあたるため、安定した指令業務が可能となり、応援体制もスムーズに構築できます。

3. より正確な情報伝達

- 通報者のスマートフォン等から映像を共有できるシステムを導入します。火災の状況や、事故現場の状況などをリアルタイムで把握できるため、よりの確な指示や情報伝達が可能になります。

4. 専門性の高い指令業務

- 外国語対応が必要な場合に備え、24時間体制で通訳に対応します。言語に困った状況でも迅速かつ的確な指令業務が行われ、皆さんの安全を守ります。

119番通報

共同消防指令センターの運用が始まって、119番通報のかけ方はこれまでと変わりません。落ち着いて、正確に情報を伝えてください。



119番通報時の3つのポイント

1. 「火事ですか？救急ですか？」に答える

- 電話がつながったら、「火事です」か「救急です」か、まずははっきりと伝えてください。

2. 場所を伝える

- 俗称では災害場所がわかりません。住所（市町村名、番地、建物名など）を正確に伝えてください。近くに目標物（コンビニ、大きな看板など）があれば、それも伝えると場所の特定がスムーズになります。

3. 状況を伝える

- 火事の場合：「何が燃えているか」「逃げ遅れた人はいるか」などを伝えてください。
- 救急の場合：「誰がどうしたか」「意識はあるか、呼吸はしているか」などを伝えてください。

覚えておいてほしいこと

スマホの位置情報サービスをオンに

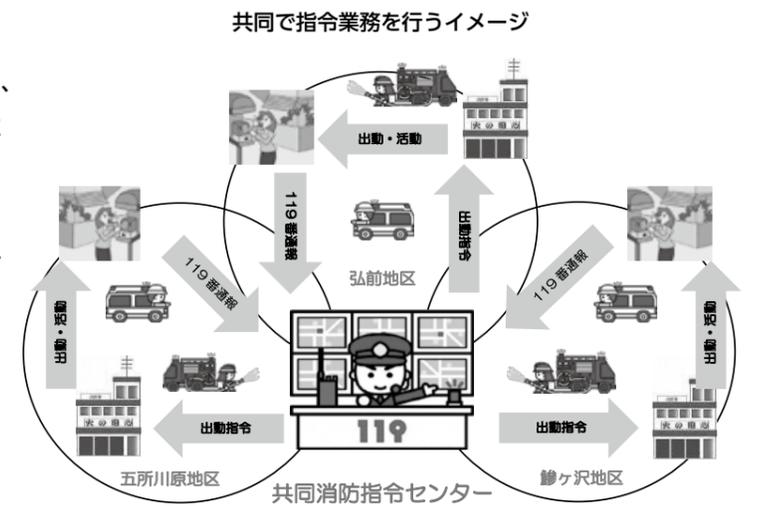
- 位置情報サービスをオンにしておくと、通報場所の特定がより正確かつ迅速になります。

慌てず、落ち着いて！

- 緊急時でも、深呼吸して冷静に話してください。

電話を切らないで！

- 指令員が状況を把握するため、また、出動隊に正確な情報を伝えるために、電話を切らずに待ってください。



広報誌をご覧の皆様へ

共同消防指令センターは、私たちの生活をさらに安心・安全にするための重要な取り組みです。

住民の皆様のご理解とご協力が、この新しい体制を成功させ、より強固な地域防災力の構築につながります。ご不明な点があれば、お近くの消防署までお問い合わせください。

弘前・西北五地域消防通信指令事務協議会
(弘前・西北五地域共同消防指令センター)
〒036-8206 弘前市大字塩分町4番地14
☎0172-32-5110

